



公募テーマ

都出先事業所のプラスチックリサイクル高度化に向け、 廃棄物データを管理するプラットフォームを導入したい

背景・課題

■ 具体的な課題

都の出先事業所においては、事業所ごとに廃棄物処理契約を締結しており、事業所ごとに廃棄物処理業者の状況（能力や許容量等）や廃棄物データの様式・粒度（品目分類、計量単位、報告頻度等）が異なるため、横断的な比較・分析が困難

■ 背景

都は、使用済ペットボトルをペットボトルにリサイクルする「ボトルtoボトル」や、廃プラスチックを新たな再生プラスチック原材料にリサイクルする「廃プラスチックのマテリアルリサイクル」の取組を新宿都庁舎で開始。これらの取組を出先事業所にも拡大するため、出先事業所の廃プラスチックの処理量や分別方法、処理内容に係る調査を実施している

■ 影響

中東情勢の影響によりプラスチック原料である石油（ナフサ）の供給が不安定となり、ナフサへの依存低減が喫緊の課題となっている。プラスチックの持続可能な利用に向けて、都が率先してリサイクル高度化に向けたモデル創出に取組む必要がある

解決方針

排出事業所・収集運搬事業者・再資源化事業者に加え、再生材を調達・利用する事業者までを一つのクラウド型データ基盤上で連携できる廃棄物データプラットフォームを、期間限定で出先事業所に導入し、品目別・事業所別・処理方法別の排出データをデータベース化

期待する成果

導入事業所のデータと、環境局が出先事業所に対し実施している調査結果のデータを同一基盤上で統合し、効率的な回収ルートの設定（シミュレーション）や回収実験等に活用することにより、出先事業所のリサイクルを推進

諸条件

- 導入時期：秋頃（9月～10月）、導入期間は概ね1か月程度とする
- 導入規模：都の出先事業所50か所程度に廃棄物データプラットフォームを導入（うち1～2か所は計量器連動によるパイロット導入を想定）

予算規模

一般型（上限200万円）

想定スケジュール

- 募集期限
8月5日（水）17時迄
- ピッチ形式の面接審査（書類審査を通過した企業のみ）
8月中旬～下旬
※書類審査を通過した企業には、別途日程の詳細をご連絡いたします。
- 契約締結、プロダクト等の導入
9月末

現場からのコメント

■留意事項・希望事項

- ・排出事業所・処理業者側にハードウェア設置や新たな計量作業等の追加負担を生じさせず、既存の計量票・請求書等・過去データ取り込みによりデータ取得と標準化が可能であること
- ・異なる処理委託契約・品目分類を持つ複数事業所のデータを統一的に正規化・蓄積でき、将来的に500事業所規模までそのまま拡張可能なクラウド型データ基盤であること
- ・廃棄物処理法に基づくマニフェスト・処理委託契約の体系と整合したデータ管理が可能であること
- ・排出事業者・収集運搬事業者・再資源化事業者に加え、再生材を調達・利用する事業者までを含むデータ連携の商用稼働実績を有すること
- ・自治体または大規模商業施設群等の複数施設を対象とした導入実績を有することが望ましい
- ・複数の排出事業者（民間の大規模施設等）と同一データ基盤を共有しており、都事業所と民間事業者を横断した共同回収スキームの立案・提案が可能であること
- ・導入希望時期（秋頃）に間に合うよう、短期間（1～2か月程度）で立ち上げ可能であること

現場情報

※現場への直接連絡はご遠慮ください。

環境局
資源循環推進部計画課

「都庁プラスチック削減方針」及び「ゼロエミッション都庁行動計画（2025～2030）」において、「使い捨てプラスチックの削減」を掲げており、2030年度目標「都の全事業所において、原則ボトルtoボトルが実施されている」、「出先事業所のマテリアルリサイクルルートが構築されている」の達成を目指す